

種類	主な理由
ブナ	<p>広大なブナ林が数多く存在する。水源を保つ大切な役目をしている。 環境にふさわしい。ブナ林で森林浴などもよいと思います。 自然豊かな“村上市”にふさわしいと思ったから。 豊水力があり包容力もある木。静々の中に存在感があるから。 市内に広く分布しており、水源涵養等の保安機能が強く、材としての利用価値が高い。春の芽吹が鮮やかである。 街の中心臥牛山に樺が生きついている。水がきれいな村上市にぴったり。 木の特徴はわからないけど樹の皮の白く変化するのもいいかなと思う。 わが家の庭にもブナを山形の人から頂いて10本位ありますが、夏場、特に今年のような気候には温度を下げてくれて、クーラーを使用していません。 名称欄は「ブナ(シナ)」となっていたが、理由欄に「委員会の候補に一任します。」とあるので、「ブナ」として取り扱う。 林のように市内の人口も増加してほしいと思ってまして。 原生林にも広く分布し、その貯水が生活を潤している。 大自然をイメージさせる木であり、自然豊かな村上市にふさわしい。 ブナの木も、お城山にあります。身近の山にあるブナが良いかと。 天然の保水力、ダム以上。 保水力が大きいといわれ、荒川、三面川などの清流がある市にとってふさわしい。 森が生きているイメージで。 ブナの大切さを聞いています。活動している団体もあるようです。</p>
マツ	<p>お城山のシンボル。 神林のお幕場公園。 お幕場の知名度を高めるため。</p>
赤松	<p>村上の中心部にあたる瀬波温泉を代表する木であり、変更すべきでない。 長い間旧市民に親しまれなじんできた木である。</p>
スギ	<p>村上杉ブランドの推奨。 ブランド材なので。</p>
ナラ	<p>成長が早く、伐期も早い。資源循環として良い。CO2対策にもなる。 林産物(キノコ)がよく生え、市の特産にもなるかも。</p>
サクラ	<p>日本の花でもあるが、城下街の風情に…。</p>
トチ	<p>市の山地全体にあり、トチ餅という村上地区の銘菓品になれるが、数が少なくなっているのが難点である。</p>
クロモジ	<p>(理由はなし)</p>
ハマナス	<p>「豊かな自然に恵まれ」、その恩恵を大いに受けているシンボル(象徴)として、海風に気高く、凛と向かう、バラ科の木である「ハマナス」が最適です。</p>

【 マークは委員会で選んだ候補。それ以外は新規で寄せられた意見です。】

40	ブナ	委員会候補
4	マツ	
2	赤松	
3	スギ	
1	ナラ	新規
1	サクラ	
1	トチ	
1	クロモジ	
1	ハマナス	
54	合計	

【市の花】

種類	主な理由
ハマナス	海岸線が長く、特異なハマナスが多く有り、紅く咲くハマナスが非常に合っている。環境に強そうだ。 前より市の花として市役所の書類等すでに利用され、印刷物もポツに今さら出来ない。無駄使い防止も考えて、村上の中心部にあたる瀬波温泉を代表する花であり、変更すべきでない。 旧村上市の花であり、山北から荒川までの海岸に生育しており、花が美しく、果実も多く実る。 海岸線が一番長い村上市の花はまなす。 香りもきつなくて良い。ユリは香りがきつい。 ゆかりの花でもあるし、味もかわいい。 委員会の候補に一任します。 本市ゆかりの雅子妃殿下の御印でもあり、自生地も多い。 真夏の暑い中でも生き生きとして、村上市民の元気づけにもなっている。 全国の市町村にあまりないと思うので。 海があるし、昔から好きでしたから。
ユリ	鉢植えのユリが最近栽培され、短期間ではあるが、玄関に置く香りもあり美しいと思う。ハマナスはトゲがあるから、山地にも平地にも自生しており、地区によって種類が違うのが特色である。 多くの山林に自生し、また市内各家庭でも多く見られ、人の心をいやしている。 大きなつぼみから徐々に咲いていく様は、未来を感じさせ、合併後の村上市が大きく花開くことをイメージさせる。 かれんである。
ユリ (山百合)	お城山山頂に咲く百合を残して市の花に選べたら良いと思います。市のシンボルの花になればと。
サザンカ	常葉樹なので花とのバランスもよく寒い時期に咲くので心をいやしてくれると思う。かなり長い間咲いてるし…。 花の少なくなった時期に咲くので、とてもきれいだと思います。 白く単純にも清純な所が素朴でよいかと思います。
ヒマワリ	朝日地区には多くのヒマワリが咲いており、太陽に向かって咲く花なので、今後の村上市も明るい方向に向かうように。 市内各地区で見られ、身近で親しみやすいから。 明るいイメージがあるから。
セナミスミレ	昭和14年(1939年)中井猛之進博士により学名と和名が正式につけられ、日本全国で最も美しいスミレと評価されている。地元セナミの地名がついている。貴重な個有種であり、後世に残さなくてはならない花です。 選定の考え方にあるとおり、“自然を守る”“環境への配慮”というテーマに沿い、加えて市のイメージアップに寄与しようとするとき、無数にある植物の中、唯一、市内地域名をその名に冠し、レッドデータブックにも記載され、各地で保護が叫ばれている「セナミスミレ」を市民みんなで大切にしていこうすることは、自然と共生する村上市を印象付け、極めて妥当性が高いと言えます。
クロッカス	南の玄関口、荒川のクロッカス。生産量が多い。(日本一) 春の訪れ。生命の息吹が感じられる。
サクラ	個人的に好きなので。
ツバキ	県の花だから。
パイカウツギ	派手さはないが、枝先に数個の花をつけた姿が5市町村が一つになった新村上市と重なる。寒さに強いので市全域で栽培が可能。紫雲寺のレンギョのように全戸で植えてもらい、花期に一齐に花が咲くことで、新たな村上市の風物詩に。

【 マークは委員会で選んだ候補。それ以外は新規で寄せられた意見です。】

27	ハマナス	}	委員会候補
10	ユリ		
1	ユリ(山百合)		
7	サザンカ		
5	ヒマワリ	}	新規
4	セナミスミレ		
2	クロッカス		
1	サクラ		
1	ツバキ		
1	パイカウツギ		

59 合計

【市の鳥】

種類	主な理由
クマタカ	<p>国立公園飛んでいるクマタカ。 馬下の地名の前の呼び名はたかのすといった。魚が多く生魚している。</p> <p>天然記念物。カッコイイ。強いイメージ。</p> <p>日本でも生息数の少ないといわれるクマタカが住んでいる地であるから。</p> <p>大空をゆうゆうととぶ。心の広さ。他の人をも受け入れる。</p> <p>でかいから。よく見る。</p> <p>委員会の候補に一任します。</p>
ハヤブサ	<p>ハトの位で顔つきもよい。</p> <p>わが家の庭にも飛んでくる。</p> <p>いかにもスピード、時代にマッチしているのではないかと思います。</p> <p>市を訪れた客が、よく目にする鳥で、市内全域に生息する鳥。</p> <p>速く飛んでる様子がかっこいいようです。</p> <p>小型であるが、動きが早い。</p> <p>おもしろいから。</p>
キジ	<p>私の居る所はもちろん、あちこちでキジの鳴き声が多く聞こえるようになり、非常に癒される。</p> <p>日本の国鳥ともなっているキジは、村上市にも多く生息しており、村上市の鳥としてふさわしい。</p> <p>国鳥でもあり、市内全域に生息する親しみのある鳥である。</p> <p>日本の国鳥でもあり、本市にも多数生息。</p>
ハクチョウ	<p>稲刈りを終えた田んぼで餌をあさる姿は、冬の風物詩ともなっています。白鳥が自由にのびのびと過ごす姿は、野生動物を大切にしようとする市民の姿を内外にアピールすることにつながる。</p> <p>春の訪れ。生命の息吹が感じられる。</p> <p>大池に飛来し、誰にでもわかりやすく、親しみやすい。</p>
オオハク チョウ	<p>神林の大池に、冬期間オオハクチョウが飛来してくるから。</p>
キビタキ	<p>市の鳥として此の鳥が一番ふさわしい。全長約13.5cm位の小鳥だが、落葉広葉樹林でさえずる声は遠くまで聞こえる。</p> <p>村上市の市街地の広葉樹林で生息・繁殖しており、他市町村では市街地で観察出来るところはまれである。広葉樹林の中などに入ると、見つけやすく、より身近な鳥として親しむことができる。自然環境のバロメーターの鳥でもある。</p>
ヒヨドリ	<p>クマタカ、ハヤブサはあまり「なじみ」に欠ける。むしろヒヨドリ、スズメ、モズ等がふさわしく思う。</p> <p>身近にいる鳥で年中いる鳥です。地味な色合いが村上人の気質を表しています。</p>
ウグイス	<p>家の隣に竹林があり春頃ウグイスが鳴いてるととても心がなごむ。山に行っても聞くことがある。</p> <p>厳しい冬から春の訪れを告げ、四季を感じるこの地域でよく鳴き声が聞こえるから。</p>
アカショウ ビン	<p>朝、この声で目覚めるから。</p>
コノハズク	<p>お城山に住む。(他にも)大事に。</p>
カモメ	<p>(理由はなし)</p>

【 マークは委員会で選んだ候補。それ以外は新規で寄せられた意見です。】

15	クマタカ	}	委員会候補
12	ハヤブサ		
5	キジ		
5	ハクチョウ	}	新規
1	オオハクチョウ		
3	キビタキ		
2	ヒヨドリ		
2	ウグイス		
1	アカショウビン		
1	コノハズク		
1	カモメ		

【推奨の木】

種類	主な理由
スギ	濃い緑の山林で美しく、山々にたくさんある杉の木は、村上市の象徴としてふさわしい。 森林の中の市としてふさわしい。ただ、根が浅いので防災上不安です。 空に向かってまっすぐ、のびのびと生き様を感じるからです。 市内のどこを通過しても多く目に入り、市民の産業としても生かされている。 嘗々と植林に励んできた先人達に敬意を表して。 市産材の1つであり、各地区でよく見られるから。 すでに山北杉など有名になってると思います。スギトピアがあるため。 地元の家造りに役立っているのではと。 最近では花粉症でなやんでいる人も多いが、身近な木。 名称欄は「スギ(ケヤキ)」となっていたが、理由欄に「委員会の候補に一任します。」とあるので、「スギ」として取り扱う。
マツ	村上に住居の長い(年)家にほとんどある。手入れをよくすれば、家の品格にも関係する。 松竹梅、古い順に村上市に一番最初に制定。 松が歴史的にも村上市推奨の木。 スギは花粉が飛ぶし、風情がない。 海岸に残る松を大事に、いつまでも、枯れずに残せたら。 笹川流れ～お幕場まで、多く赤松がある。お幕場の特長である。 保安林として風雪に耐え、村上市を守ってくれている木であるから。 ちからづよく、またしづとい。 村上市にはいてほしいから。
赤松	長い間旧市民に親しまれなじんできた木である。
ヤマボウシ	里山のあちこちに存在し、春の白い花が非常にまぶしく咲き誇り、庭の愛木として多く植えられている。 市民生活の中にさりげなく一緒にあり、これからも容易に市民が愛で育む姿を見ることが出来る木です。
ブナ	お城山西側に平野部としては大変貴重な群生が見られる。豊かな恵みをもたらす三面川の水源地にあり、鮭、鮎などの淡水魚を育む水質維持には欠かせず、市民による保護活動も行われた。マイタケの宿主樹木として大変有用性が高い。
ナラ	生育が早く、山の恵みを多くもたらす。
ケヤキ	神社・お寺・山居町保育園前等にあり、長寿を表わす。葉は土にかえる。
シナノキ	羽越伝統工芸である「シナ織り」の原料であるシナノキは植林したのもあるが、天然生育している資源が枯渇しているので増殖する必要がある。
タブの木	(理由はなし)
クリ	おいしいので。
モミジ	村上市にも一つ、山がモミジに紅葉するような場所を作ってもらいたい。

【 マークは委員会で選んだ候補。それ以外は新規で寄せられた意見です。】

22	スギ	}	委員会候補
14	マツ		
1	赤松		
2	ヤマボウシ	}	新規
1	ブナ		
1	ナラ		
1	ケヤキ		
1	シナノキ		
1	タブの木		
1	クリ		
1	モミジ		

46 合計

【推奨の花】

種類	主な理由
クロッカス	<p>春の訪れを告げる鮮やかな色彩の可憐な花が咲き誇る生産量日本一のクロッカスは、生産者の高齢化に伴い毎年作付け面積が減少している。生産量日本一の称号を途絶さぬためにも、推奨の花として支援すべきだ。</p> <p>日本一のクロッカスの産地と聞いているので。</p> <p>クロッカスの花が一面に咲く様子は他へのアピールポイントとなる。</p> <p>荒川の有名品。おかしなどにも商品化されているし、知名度あり。</p> <p>球根生産量が日本一で有名なため。</p> <p>カワイイから。</p> <p>委員会の候補に一任します。</p>
カタクリ	<p>自生して群生してるのを見たことがあるのでとても美しくその場で友とゆっくり休んできたことがあるのでそんな場所があちこちにあってもいいと思うから。</p> <p>かれんなかんじで、やさしい市民の気持ちのようだから。</p> <p>山野草にも、とても優しさとお美しさを持っていると思います。春を告げてくれる花とも思います。</p> <p>「市のイメージアップ」「自然を守る」「市内で多く見られ、親しまれている」をキーワードに選びました。市内に生息する在来種を大切にしていこうとすることは大変重要で、園芸種や外来種は“推奨”にはなじみません。カタクリの他、ヤマハギ、ヤマザクラ、リンドウなど季節を感じさせる在来種が妥当です。</p> <p>大平山等でもよく見かけるから。</p>
ヒマワリ	<p>簡単に栽培でき、どこにでも植えられ、夏の代表花として、暑い夏を象徴する素晴らしい名花と思う。</p> <p>休耕田や耕作放棄地にヒマワリを植えて市の名物にすべきと思います。</p> <p>各家庭や畑でも見られ、太陽に向かってのびのびと、他の花より目立っている。</p> <p>天に向かってまっすぐ伸び、大きな花を咲かせるひまわりは、村上市の今後の姿を表している。村上市の象徴。</p> <p>高根のヒマワリ畑がきれい。花が大きく、勢いのあるイメージ。</p> <p>幼い子からお年寄りまで親しまれている代表的な花の1つであるから。</p> <p>昔の彼女が好きだったので。</p>
アジサイ	<p>何処の家庭にもあります。6月から8月近くまで花が咲き、七変化の彩りを見せます。</p> <p>御伊勢様にあじさいとあわび。鎌倉にあじさい。村上市にあじさい。</p> <p>鎌倉へ行った時、とてもきれいだった。</p> <p>自宅の庭にもあり、散歩しているとあちこちで見ることが出来て、愛着があるから。</p> <p>増やすこと、種類も多く、管理しやすいため。</p>
ヤマハギ	<p>ハギの種類も多く、お城山にもハギがあったらと思う。</p>
セナミスミレ	<p>昭和14年(1939年)中井猛之進博士により学名と和名が正式につけられ、日本全国で最も美しいスミレと評価されている。地元セナミの地名がついている。貴重な個有種であり、後世に残さなくてはならない花です。</p> <p>セナミスミレは学名 <i>Viola Senamiensis Nakai</i> で、植物図鑑にも記述され学術的にも貴重な植物である。海府から塩谷の海岸砂丘に生育分布しているが、砂丘の減少からセナミスミレが衰退しているので、保護することが重要である。</p>
ヒメサユリ	(理由はなし)
ハマナス	<p>これまで村上市の花として親しまれ、雅子さまのお印の花ともなっている。</p>
クロッカス ・ヒマワリ ・ヤマハギ	<p>満開の花畑が美しい。(クロッカス)</p> <p>満開の花畑が美しい。(ヒマワリ)</p> <p>道路の際でも美しい。(ハギ)</p>

【 マークは委員会で選んだ候補。それ以外は新規で寄せられた意見です。】

16	クロッカス	}	委員会候補
11	カタクリ		
11	ヒマワリ		
7	アジサイ		
1	ヤマハギ		
3	セナミスミレ	}	新規
1	ヒメサユリ		
1	ハマナス		
1	クロッカス・ヒマワリ・ヤマハギ		

【推奨の鳥】

種類	主な理由
ハクチョウ	<p>冬の代表の渡り鳥。誰にも愛される鳥として、季節を代表するこの鳥が我が村上市にも多く渡来している。年代を問わず愛される鳥を是非……。</p> <p>落穂喰ぶ情影が目につくようになりました。群衆背丸くし、夕暮れまで田に居る楽しい風影のひとつです。</p> <p>大池に飛んでくるし、田んぼにも飛んでくる。</p> <p>冬期限定ながら飛来数が多い。</p> <p>市内に飛来する、白鳥を保護し、数を増やしていけたら。</p> <p>大池に毎年きてくれるので愛情がわいてきます。</p> <p>大池の白鳥は有名で観光地化している。新潟から白鳥に逢いに来ようです。毎年楽しみにしています。(孫たちも)</p> <p>冬場の殺風景な中であって、心を和ませてくれる。</p> <p>大池に飛来し、誰にでもわかりやすく、親しみやすい。</p> <p>とにかくキレイ。</p>
キジ	<p>人家周辺、原野、川原など身近なところに生育しており、営巣雛をつれていくが多く見られる。</p> <p>国鳥の雉と村上市の雉がわかりやすい。</p> <p>数は少なくなったが市全体で見られる鳥である。保護の必要があります。</p> <p>身近に生息していて、親しみやすいと思います。</p> <p>山野はもとより、家の近くでも見られ、「ケンケン」と鳴く声がこだまするのは、人の心をいやす。</p> <p>日本の国鳥でもあり、この地でも多く生息し、親しみやすい。</p> <p>毎年、隣家に繁殖に来ており、かつてのように平野部にも住んでほしいため。</p> <p>力強さをかんじる。</p>
オオルリ	<p>ちょっと「きどる」かもしれんが、オオルリが良い。</p> <p>3～5月、9～11月中頃にわたってきて、大池の付近でよく鳴いている、青い美しい鳥であるから。</p>
ウミネコ	<p>日本海をとびかうウミネコは、海岸が長い村上市にふさわしい。</p> <p>海だけでなく、最近、内陸にも多く見られる。</p>
ミサゴ	<p>鳥も推奨の花と同様、市内の在来種を大切にしていこうとする方向で、季節ごとの選定を希望します。オオルリなどにも賛成ですが、ミサゴは絶滅危惧種であり、一点のみということですので、そのようにさせていただきました。</p>
キビタキ	<p>市の鳥として此の鳥が一番ふさわしいのではないかと思います。全長は約13.5cm位の小鳥ですが、落葉広葉樹林でさえずっている声は遠くまで聞こえてきます。自然環境のパロメーターの鳥でもある。</p>
ヤマセミ	<p>妻が好きなので。</p>
キジ・ハクチョウ	<p>車道も横断したり、雄鳥はきれいだ。(キジ)</p> <p>人を恐れない鳥。(ハクチョウ)</p>
	<p>なぜ鳥なのかわかりませんが、庭に春からずっと鳥がきて花、つばみ、実、種と食い荒らしています。いわば害鳥です。今朝もさんしょうの実かなり大きな鳥です。その辺も考えあわせてください。</p>

【 マークは委員会で選んだ候補。それ以外は新規で寄せられた意見です。】

19	ハクチョウ	}	委員会候補
11	キジ		
4	オオルリ		
4	ウミネコ		
1	ミサゴ		
0	サンコウチョウ	}	新規
2	キビタキ		
2	ヤマセミ		
1	キジ・ハクチョウ		
44	合計		